

VERITAS vos liberabit



鹿児島純心女子
大学附属図書館報
第3号(No.3)
編集：図書館運営委員会
発行日：2014.3.14

特集 図書館を活用しよう！

図書館報名「VERITAS vos liberabit」は、ラテン語で「真理はあなたたちを自由にする」(新約聖書ヨハネ福音書8章32節)という意味です。

❖ contents ❖

巻頭言	1
館長 坂井 恵子	
Book Review	2
張 紹好	
福元 耐子	
井上 祐子	3
(こと文2) 松本 華澄	
(看護1) 米倉 侑希	
(健栄2) 川辺 優菜	4
(こども2) 藤田 実優	
寄贈図書紹介	
図書館とわたし	5
小島 摩文	
USER'S voices	
(大学院)有川 直美	
図書館の小さな部屋	6
Part.1 各部屋の紹介	
Part.2 利用レポート	7
お知らせ	8
編集後記	

■ 巻頭言



図書館長 坂井 恵子

図書館長として2年過ぎようとしています。これまでの2年間に数多くの図書館会議に参加する機会がありました。例えば全国図書館、私学図書館、九州地区図書館、カトリック系大学図書館、そして鹿児島県図書館など、それぞれ特色ある会合でした。現代の図書館が抱える問題や未来に向かう際の課題などいろいろ学ぶことができました。ここでは、参加した会合の中で、昨年、心に一番残った講演について、述べたいと思います。

現代はパソコンやスマートフォンなど電子媒体で簡略化されたネット上の文章を読むことが日常的になっています。それは調べ物や資料収集のために、素早く広範囲にわたる情報を図書館に行かずに得ることが出来る時代になったことです。逆に、紙媒体の書物の講読は年々減少傾向で、特に若い世代に顕著です。いわゆる速読が主流になっているようです。講演では、若い人が“生きる力”をつけるには精読によって“読む力”をつけることが大切であると脇明子氏(前ノートルダム清心女子大学教授)が述べておられました。では、精読が出来ない人に具体的にどうすれば読む力を養えるのか、具体的に話されました。まず対象の書物として、児童図書のような読みやすく、かつ興味を持てる内容の書物を選ぶ、次に数名でその同じ書物を読

む、さらに朗読し合って聴く、さらに本の内容について話したりすることにより、自分一人で読んだ時、気付かなかったことを知るきっかけになる。それで自分でもう一度読み直してみる。このようなことを繰り返しているうちに、本を深くじっくり読むことが出来るようになり、実際には体験できないことを味わえたり、登場人物の思考の過程を通して、あるいは作者の意図を感じて、人を見る目、判断力や思考力などが築かれていくという主旨でした。

これを実行するには友人との読み聞かせにおいて教員による指導がなにより必要とされています。そして、図書館が精読できる環境を提供しなければなりません。既に書物は揃えてあります。その折に薦められた児童図書もあります。皆さんも時間のある時、試みてみませんか。

本学の図書館は、在学生が勉学のために必要な参考書、専門書などの書物、先生方が研究に必要な書物、さらに情報ネットサービスなどいろいろありますから、わからないことがあったら、書棚を見回したらきっと何か見つかりますよ。一方では、新刊書が絶えず加わっている教養書や文学書、さらにキリスト教関係図書や資料は豊富にあります。絵本も驚くほどビッグなサイズのものもありますから、一度手に取ってみると楽しくなりますよ。図書館の1階には談笑できる部屋もあります。図書館を大いに活用して下さることを心より願っています。



Book Review



おすすめの本を紹介していただきました

中国は5千年の歴史と、高大な国土、多くの人口を抱える多民族国家です。悠久の歴史と豊かな自然景観に恵まれ、各地の様々な民族から色々な民話、伝説、神話が生まれました。交通手段が発達しておらず、教育制度も普及していなかった時代には、それらは代代口承され、子供や庶民に夢や希望、勇気を与え、豊かな心を育み、教育にも重要な役割を果たしていました。しかし、この100年ぐらいの欧米化の中で、他国文化が受け入れられる一方で、豊かだった自国の口承文芸は、だんだんと失われてしまいました。このような状況を危惧した文化人達が、時間をかけて民俗資料の調査を行ったところ、それらの民話、伝説、神話等は、寺院や壁画、詩の中等、様々な所に隠れて残っていたことが分かりました。

図書館蔵書の『中国童話』は前述の調査活動を通し



て、多くの方々の協力でまとめあげられた本です。春、夏、秋、冬の四季に分かれ、それぞれに3冊あり、旧暦の中国節気やその由来の紹介をはじめ、歴史、人物、宗教、思想、神話、伝説、習俗等、多分野にわたり巧みな解説が交えられており、知識面での充実度もさることながら、読者に感動を与え、先人の知恵や自国文化を見直させ、興味を引き出すことに大きく貢献しました。

中国語を学んだことのない人でも、様々な中国伝統画法、民族の図柄、切り絵や刺繍等を参考に、物語の内容に合わせて丹念に描き込まれた美しい童話本ですので、まずは絵柄だけでも興味を持って頂けるでしょう。中国語学習者は、本とあわせて音声テープを聞くことで、学習効果を一層高めることができますので、ぜひご一読ください。国際化する世界の中で、視野と考え方を広げる一助となればと思います。

『中国童話』全12巻
漢聲雜誌社
英文漢聲出版（台北）

図書館所在
1F大型和書 923.8 KA

（ことばと文化学科 張 紹好）

本書の著者はニューメキシコ州在住の米国人である。多くの料理本を出版し、特にスパイスの研究を専門とする食のジャーナリストでもある。筆者はダ・ヴィンチの手稿をもとに調査をはじめ、ルネサンス期イタリアの食事に深く関わった人々も登場させながら、料理を中心とした歴史物語に仕上げで紹介している。

ダ・ヴィンチは、宮廷料理において「最後の晩餐」をはじめとする絵画を描き上げるだけでなく、文化、科学面にも精通し、それを実用化し続ける様子が残されている。イタリア・ルネサンス時代に王侯貴族の間で催された饗宴（バンケット）料理は時代を反映し、海外からの作物流入とともに中世ヨーロッパ文化の発展に影響を与え、料理人達への種々の傑作を生み出させた。例えばリゾットやパスタ等の起源が実に詳しく述べてあり興味深い。そのほとんどは上級階級のバンケットにあり、そこに加わることができなかった人々がいたことを忘れてはいけない。「料理史」においてレシピは大切な資料であり、本書



は大きく二つに分け、前述はルネサンス期の巨匠達の考え方を含めほぼ同じ再現したレシピを、後記は異国から伝播した香辛料も取り入れ、現代風にアレンジされたレシピが満載である。

イタリア料理には、三つの特徴（おいしい・健康的・経済的）があるといわれている。我国でも人気のイタリア料理の歴史に触れることにより、自国の「和食」の意義を知り、その精神を考える機会を与えられるだろう。

『ルネサンス料理の饗宴
:ダヴィンチの厨房から』
デイヴ・デウィット著
原書房

図書館所在
1F和書 383.837 DE

私たちは、常に専門分野で卓越した技術を身につけなければならないと思う。それらを少しずつ満たすヒントを引き出してくれるであろうこの大学の図書館の書物で多くの時間を費やしたいものである。

《図書館は異文化を結ぶ知の拠点》と言われる真の一冊である。

（健康栄養学科 福元耐子）



この本は、恩師が私に紹介して下さった思い出の書です。恩師がこの本を紹介して下さった時、私は恩師に利用者支援に関する相談をしていました。恩師は私の話を聴き終えると、「この本を読んでみるといいよ」とだけ教えて下さいました。あれから5年近く経ちますが、私にとってこの本はとても難しく、未だに概要を上手く説明することができません。何故、打てば響くタイプではない私に恩師が紹介して下さったのか、この本を手取る度に考えます。



うになりました。この本を改めて読み、皆さんと関わる時に心掛けたいと思う一節があります(実際にはできていないのですが…)

「他者が成長するのを援助するとき、私は自分の方針を他者に押し付けたりしない。私はむしろ、他者の成長の方向をみて、それが、私がケアの中で何をするかを導き、どのように私が応答するべきか、そしてそのような応答には何が適切であるかを決めるのに役立つであろうようにする

『ケアの本質』
：生きることの意味』
ミルトン・メイヤーロフ著
ゆみる出版

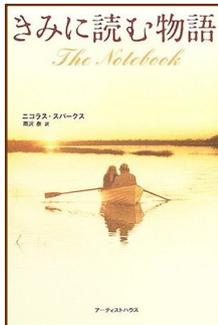
るのである。私は他者を、尊重さるべき諸要求を持ち、それ自身の存在の権利において独立しているものとして遇するのである。」(pp.22～23)

図書館所在
1F和書 114 MA

この本は、読む度に新たな気づきを与えてくれます。長い時間をかけて、このような付き合い方のできる本はいいなと思える一冊です。

(こども学科 井上祐子)

この本は実話を元に作られた作品で、映画化もされています。認知症を患ってしまった老女アリーにデュークと名乗る男性が、毎日、ノートに書いてある同じ物語を読み聞かせる、というところからお話が始まります。はじめはアリーとデュークの関係がとても気になりますが、それは中盤で明らかになります。冒頭に「わたしはありふれた人間だ。ごく普通の考え方で、ごく普通の生活を送ってきた。記念碑などないし、名前もすぐに忘れられるだろう。でも、わたしには 全身全霊をかたむけて愛する人がいる。いつでも、それだけで十分だった。」という一節があります。私はこの一文にとっても共感しました。人生のあり方は人それぞれ違うけれど、たった一人だけでも自分が心から愛する人がいると、それだけで自分の人生は満たされるのだと感じました。一生涯をかけてたったひとりの女性を愛した男性の、大きな深い愛を感じられる一冊です。文章は全体的に優しくゆったりとしていて、時々出てくる詩にぐっと惹きこまれます。お互いを自分の夢



という二人。すれ違いながらも人生をかけて互いを求め合う純粋な愛に、感情移入して胸が締め付けられる思いでした。美すぎるほど、とても美しいお話で、英米の情景を思い描きながら易しく読み進められました。いつか私も結婚して、誰かと寄り添い歩くことになるだろうけれど、老後はアリーとノアのような素敵な老夫婦になりたいと思いました。本の中に「ロマンティストはこれをラヴ・ストーリーと呼び、皮肉屋は悲劇と呼ぶだろう。」という一文があります。ラヴ・ストーリーと呼ぶにはあまりにも酷

『きみに読む物語』
ニコラス・スパークス著

図書館所在
(和書)
1F和書 933.7 SP
(洋書)
1FEasyReaders
933.7 SP

な人生で、しかしラストを知れば、悲劇で終わらすことはできない。すべてラストのシーンがこの物語の全容を救ってくれます。愛の力は計り知れないとつくづく感じました。とても心温まる、切ないお話です。ぜひ一度読んで、胸の内に広がる温かい感動を味わってみてください。

ことばと文化学科2年 松本華澄

私がお勧めしたい本は乾くるみさんの『セカンド・ラブ』という本です。この本を読もうと思ったきっかけは、図書館で偶然見つけて、そういえば友達が面白いと言っていたと、思い出したからです。この本は背表紙に「二度読み必至」と書いてあり、読む前は分からなかったけれど、読み終わった後に「二度読み必至」の意味を理解することができました。「セカンド・ラブ」は「恋愛ミステリー」と称されるように本の結末部分でたくさんの種明かしやどんでん返しが待っていました。最後まで読み終わると、初め読んでいたときに腑に落ちなかったことが解決したり、初めの自分の解釈から大きく変わったり、そういうことだったのか、と思わず初め



から読み直してしまい、これが「二度読み必至」ということなのかと思いました。作中には適度なセックスシーンや恋愛における人それぞれの考えなど大学生が読むのにちょうどよいくらいの大人っぽさがあり読んでいて飽きませんでした。僕と結婚したのは果たして誰なのか、清楚な春香と大胆な美奈子、どうして僕はふたりの女性の間で心が揺れ動いてしまったのか。なぜ春香と美奈子はあのような行動に出たのか…。本を読めば読むほど新しい発見があり、二度読みどころか何度も読み返すことをお勧めしたいと思います。

『セカンド・ラブ』
乾くるみ著
文藝春秋

図書館所在
1F文庫 913.6 I

看護学科1年 米倉侑希

物語の舞台は8年後に地球に小惑星が衝突し、地球は滅亡すると予告されてから5年が過ぎた街です。一見SFのような設定ですが、描かれるのはヒルズタウンという団地の住人たち。滅亡予告当初は絶望によるパニックや混乱、秩序の崩壊に陥った世界も、予告から5年経ち、平穏な小康状態にあります。そんな世界で余命3年をどう生きるのか。8人の主人公が8つの角度から描かれています。一見重たいテーマのようですが、物語はとてもあっさりしています。世界の終末という1つのテーマが8つの物語から描かれている短編集なので、ゆっくりと読む時間がなくても1話ずつ



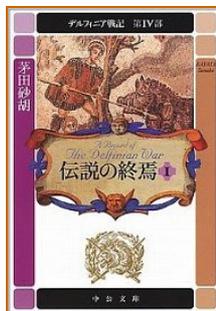
楽しむことができます。他の話とリンクする場面もあり、同じ場面を別の人物の視点でみることで考え方の相違や登場する人物の心情がわかり、複数人の視点や客観的な立場から見るすることができます。

地球の滅亡という設定は突飛で非現実的なものではありませんが、描かれているのは平凡な一般市民なので、物語の世界観に入り込むことができます。世界の終焉を前に、普段どおりの生活を送ろうとする人々の強さから、希望や人とのつながりを感じ、読後は心が温かくなります。もし8年後に地球が滅亡するとしたら、自分だったらどうするだろうかと考えてしまう物語です。自分を見つめなおすと同時に、温かい気持ちになれる1冊です。

『終末のフル』
伊坂幸太郎著
集英社

健康栄養学科2年 川辺優菜

その男は、絶体絶命の窮地に立っていた。実に十人の集団に襲撃されており、それも相当に手強い。一人で相手をしている男は旅姿で、見事なまでの剣の冴えと実用的な衣服からすると、傭兵稼業で食べている者のようだった。その一人を、卑怯にも大勢で取り囲んで殺そうとしている連中は貴族の館に仕えている従騎士の身なりそのもの。こんな卑怯卑劣な行為に手を染めては、騎士たる者の名誉も誇りも地に墮ちるはずだ。何故、襲撃しているのか。…物語は、こうして始まる。囲まれるのを避けるためには近くの花畑へ逃げるしかなかった男だが、ついに振りきれないと悟り、囲まれる。もはやこれまでと思ったそんな時。男の目前、花畑の中から、誰かがむくりと頭を起こした。背の高い花畑の中で昼寝でもしていたらしい。男も、刺客の一団も、もちろん起き上った少年も驚いた。眼の前で何が起きているのか、わからなかったに違いない。目撃者までも遺すまいとしたのか、刺客の一人が少年に襲いかかり、



斬り伏せようとした。が、出来なかった。実際に倒れたのは、少年に襲いかかろうとした刺客だった。十二、十三の少年が倒したのである。そして、十人の人数で一人の男を襲っているのを見て、助太刀を申し出た。男は戸惑いながらも感謝し、撃退したのであった。…そして、撃退したはいいが、少年の素性を聞くと、なんと異世界から来たという。そして、帰れないとも。しかも、少年だと思っていたが、何故か少女の体になっているという。到底信じられない話だ。男が今危険な東の国、デルフィニアに行くというと、少女も行くという。行くところがないのだから付いていく、と。ただの自由戦士だと思われた男が実はデルフィニアで国王だったのだが策略にはめられ逃げたというのも明らかになり、デルフィニアに向かう目的もある。こうして2人の物語は始まるのだが…それはこの本を読んでものお楽しみ。面白いし、読み応えがある本だ。ぜひとも読んでみてほしい。

『デルフィニア戦記』
茅田砂胡著
中央公論新社
(中公文庫)
図書館所在
1F文庫 913.6 KA

健康栄養学科2年 藤田実優

Thank you



著書を寄贈していただきました!



広瀬健一郎先生より
(こども学科)

『アイヌ民族の先住民教育権回復に関する比較教育学的研究：カナダの先住民民族教育制度との比較考察の試み』
(科学研究費補助金(基盤研究(B))
分担研究者研究成果報告書)
図書館所在 1階大型和書 371.3 H1
「アイヌ民族教育に関する総合的な研究」比較研究グループ研究での研究成果です。



栗原真孝先生より
(こども学科)

『教育行政学：教育ガバナンスの未来図』
小松茂久編
昭和堂，2013
ISBN：9784812212608
図書館所在 1階和書 373.2 KO

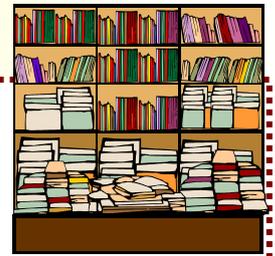
栗原先生は、第10章「異文化のなかの子ども・青年と教育行政：異文化にどう向き合うか」を執筆されています。



釜塚千恵先生より
(図書館)

『看護師のためのWeb検索・文献検索入門』佐藤淑子、和田佳代子編著
医学書院，2013年
ISBN：9784260019125
図書館所在 1階和書 492.907 SA

釜塚先生は、第2章 2-2JDreamⅢ、2-3NDL-OPACを担当しています。



「実は私は図書館が苦手です。図書館にいるとなぜか落ち着きません。」書店にいるとトイレに行きたくなる「青木まりこ現象」が1985年『本の雑誌』という雑誌で話題になりましたが、私は図書館にいと、じっと座っていることが苦痛になることがあります。

浪人生の頃、友達と連れだって図書館に勉強しにいったことがあります。集中して勉強している友人を尻目に、私はどうしても本が読みたくなるのです。気分転換と称しては、ふらふらと書架の森を徘徊してしまうのです。

私はもともと、本も嫌いでした。いや、嫌いと言うほど、意識もしていないほど、どうでもいい物だったのですが、ある日突然本の虫になってしまいました。そのときのことを書き始めると長くなるので、ここでは書きませんが、とにかく本を読みあさるようになりました。小学校4年生の時です。読んでいたのは江戸川乱歩の少年探偵団シリーズでした。その時からすでに私は、

図書館派ではなく、自分で買って読まない気が済まないたちでした。それは、小学校、中学校、高校とずっと続きます。そこそこの読書量だったと思いますが、図書館の本はほとんど

読みません。よく、図書館の本をどれくらい読んだかランキングをして競わせることを小学校などではしますが、私は常にワースト

1位ねらいでした。しかし、大学に入ると、読みたい本、読むべき本の両方がすごい量になり、図書館のお世話になる以外方法がなくなりました。今度は図書館から借りまくって読みました。実は借りた本を全部読んだわけではないのですが、とにかく自転車操業のように返しては借りていました。でも、図書館にいるのは苦手なので、借りたらさっさと出るというスタイルです。

大学の図書館に読みたい本がないという学生がいるようですが、読書というのは、実は、読みたい本を読むことをいうわけではありません。人生には読まなければならない本がたくさんあります。好きか、嫌いに関わらず、とにかく通読すべき本があります。

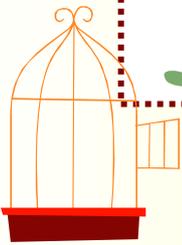
大学の図書館はそうした本がたまっている場所です。そして、そうした「読むべき本」というのは実は、人を自由にする本なのです。読書は暇つぶしではありません。そういう本は自分で買って読めばいいのです。少年探偵団などはまさに暇つぶしです。

あなたが、自由になり真の幸せをつかむために、本当に読まなければならない本は図書館にあります。

図書館とわたし

Veritas vos liberabit !!

(こども学科 小島摩文)



User's Voice



図書館は新しい発見の連続です!

私は主に大学院の授業で学んだことをより深く理解したり、授業で行う発表の準備やレポートを書く際に参考にしている文献を得るために図書館を利用しています。その際には、あるテーマに関する著書を少なくとも2冊以上は借りています。同じテーマに関する本でも著者によって内容が異なるので、複数の文献を比較しながら偏った情報を取り入れないように努めています。

また、私が図書館を利用するのは大学院の授業のためだけではありません。特に目的もなくぶらりと

図書館へ立ち寄り、並んでいる本を眺めながら、興味を持ったタイトルの本を手に取り、時間の許す限り読んでいます。臨床心理学に関する著書以外にも、文学や歴史、政治に関するものから、漫画や雑誌など広い範囲に亘る図書に触れては、新しい知識を獲得したり、自分の考えを巡らせています。私にとって図書館は新しい発見の連続で、わくわくさせてくれる場所でもあります。皆さんも、授業やレポートの文献探しだけでなく、自分自身の興味・関心を追及する場所として、図書館を利用されてみてはいかがでしょうか。

人間科学研究科 心理臨床学専攻1年 有川直美

図書館の小さな部屋

Part.1

図書館には目的に応じて利用できる小さな部屋があります。有効に使っていただけるよう簡単に紹介します。

ルルド

1階「ルルド」(憩いの空間)です。少しくつろぎたい時に自由にお使いいただけます。ファッション雑誌、タウン情報誌が置いてあり、自由に閲覧できます。



純心創立のこころ

創立者江角ヤス先生の生涯と純心学園創立からの歴史を短くまとめ展示しています。



エリザベト

看護師、保健師、助産師の国家試験対策用の資料を収めています。キャレルデスクが11台、パソコン、プリンターが1台ずつ設置されています。国家試験勉強のためだけでなく、いつでも利用できます。



トマス

キャレルデスクを25台設置しています。教員採用試験TOEIC、TOEFL、英検ほか語学検定試験対策のための資料が収められています。



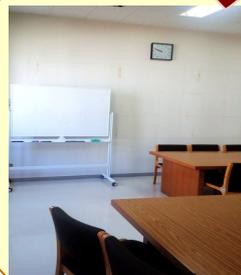
ローザ

管理栄養士国家試験対策用の資料を収めています。キャレルデスク7台、長机2台設置されています。国家試験勉強のためだけでなく、いつでも利用できます。



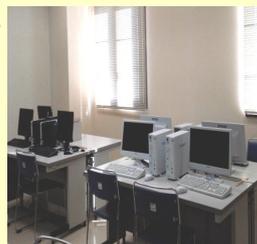
ラファエル

学生同士のグループで学習する時や、少人数でのゼミなどに利用できます。予約制ですのでカウンターでお申込み下さい。



ガブリエル

情報リテラシー支援室です。インターネットで情報を収集したり、Word、Excelを使ってレポート等の作成ができます。印刷のための用紙は各自用意していただくか、1階カウンターで申請すると必要枚数を受け取ることが可能です。



カタリナ

備え付けのDVD、ビデオテープ、CDの視聴ができます。



試験対策室

エリザベト

ローザ



Part.2

いつも利用しておられる方々に用途をレポートしていただきました。



看護学科 4年生

試験対策室には、看護師・保健師・助産師の国家試験対策に関する資料や、問題集、分野別の参考書があります。国試の勉強をしながら、自分の苦手分野や間違ったところ、疑問に思ったこと等をすぐに調べることができます。このように、環境が整っているため、単位認定試験や実習での調べもの、普段の勉強をする時に最適です。

試験対策室は、看護学科・健康栄養学科それぞれの部屋になっているので、同じ学科の学生同士が集まって、お互いに質問したり教えあったりすることができます。そして、集中して勉強することができます。

個人で勉強するよりも、同じ目標を持った仲間同士で勉強するほうが刺激にもなり、やる気になります。



情報リテラシー支援室

ガブリエル



看護学科 4年生

図書館の中の情報リテラシー支援室(パソコン室)は、パソコンが新しくなり、プリンターも設置されました。また、講義棟からも近いので、レポート作成や提出物の印刷・調べもの等で利用しやすくなりました。

文献検索や文献の取り寄せは、主に図書館で行われているため、研究やレポートの際によく利用します。また、インターネットも繋がっているため、空き時間なども自由に利用することができます。

グループ学習室

ラファエル



健康栄養学科 教授 坂井恵子先生

本学図書館の2階に「ラファエル」という部屋があります。そこがグループ学習室です。少人数で議論あるいは講義もできる部屋になっています。私は看護栄養学部の健康栄養学科の4年生や3年生のチューター生たちと管理栄養士国家試験受験対策のための学習をするために、週に3日、1コマずつ借りて行っています。私個人の研究室には一度に7名や8名は入りきれないし、かといって教室では広すぎるので、グループ学習室を利用させてもらっています。また、ここは、3年生と4年生の15名を合同で行えるぐらいのスペースがあるので、週に1度は上級生と下級生との交流の場にもなっています。その時は、学習はもとより就職活動について、3年生は4年生から直にいろいろ情報が得られるようです。さらに、グループ学習室の隣に個人用の学習室があるので、そちらも併用して小テストなど行います。

図書館の中はどこも静謐な雰囲気を感じますが、この部屋では、学生も教員も普通に話せるので便利です。願うことは、ここで勉強したことが成果に繋がってくださいますように！

お知らせ

タブレットPCを検索用に備えました(1台)

画面タッチで入力可能ですが、キーボードも使えるようにしています。持ち運び可能で、図書館内であれば自由にお使いいただけます。但し、電波が届かない場所もありますので、電波が届く範囲で使用してください。

- ★画面タッチ入力する際は、設定画面でBluetoothをOFFにしてください
- ★取り扱いには充分お気を付け下さい。



機関リポジトリへの登録申請をお願いします

昨年度より、「機関リポジトリ」の運用を行っています。過去の論文でもインターネットでの公開を希望される方は「機関リポジトリ」を是非ご利用下さい。登録申請書は、本学の学術情報リポジトリサイト (<http://kjunshin.repo.nii.ac.jp/>)よりダウンロードできます。論文は電子ファイルでお納めいただくことが原則ですが、紙資料でも受付可能です。但し返却はできません。リポジトリは学外からのアクセスが多く閲覧される回数も増えるため、登録をお勧めします。今年度、最も多い論文で7,127回ダウンロードされています。

紀要(2006年以前)や研究センターの発行物で登録を希望される論文等がありましたら申請をお願いします。



図書館入口にドリンクの自動販売機が設置されました

図書館内は蓋付きのペットボトル等のみ持ち込み可能です。



卒業後も利用できます

在学時より利用制限はありますが、貸出も可能です。ご利用下さい。



～お詫び～

第2号に誤植がありました
2頁右、下から9行目
(誤) 児堂 → (正) 兒童

編集後記

今号に寄せられた原稿は、いずれも、読書と図書館を利用する楽しみが、文面からほとばしり出るようで、圧倒された。館内で無言な利用者たちの、内に秘められた言葉の、なんと豊かなことか。ところで、図書館は本を読むところではあるけれど、学習・研究を支援する場でもある。1Fのルルド、2Fのラファエルは、友と語ることが可能だ。語り合えば、新たな知恵が生まれ、それを深める新たな文献が必要となる。新たな文献を手に入れば、そこから新たな議論が生まれる。検索に困れば、いつでも図書館職員から懇切・丁寧なる助言が得られる。サンタマリア館等の図書館外のPC室でレポートを書いている諸姉へ。レポートを書くなら、図書館で書いてみないか。知の世界が広がることを実感するに違いない。

(KH)



鹿児島純心女子大学附属図書館報

VERITAS vos liberabit No.3

編集・発行：図書館運営委員会

発行日：2014年3月14日

〒895-0011

鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地

TEL：0996-23-5311 / FAX：0996-23-5030

E-mail: veritas@jundai.k-junshin.ac.jp